

平成30年度 老施連認知症介護実践研修 「実践者研修」 開 催 要 綱

1 目的

認知症高齢者がその有する能力に応じて自立した生活を営むことを支援できる基礎的及び実践的な認知症介護の知識と技術を身につけ、その具体的な実践を展開できる、介護現場における中核的な役割を担う認知症介護の専門職員を養成し、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。

2 主催

公益社団法人広島市老人福祉施設連盟

3 開催期日

平成30年5月30日(水)・31日(木)、6月19日(火)～21日(木)、7月31日(火)の6日間

及び4週間の自施設実習

(中間報告日(7/6(金)))には、コーディネーターより必ず指導が受けられる状況にあること)

4 場 所

広島市総合福祉センター 5階 ホール

広島市南区松原町5番1号

5 対象者

つぎのすべての要件を満たす者とする。

- ① 市内の介護保険施設・事業所に従事する介護職員等
- ② 認知症の知識に関して、介護福祉士等の知識又はそれと同様の知識を有している者
- ③ 身体的介護に関する基本的知識・技術を習得している者であって、介護保険施設・事業所等において介護実務に概ね2年以上従事した経験を有している者
- ④ 研修を継続して全日程を受講することができ、自施設にて4週間(日常業務を行いながら設定した課題に取り組み)、研修終了後学んだことを実践できる者

6 参加費

5,000円〔老施連会員〕
29,000円〔老施連会員外〕
(ワールドカフェ参加料 500円)

合計 5,500円
合計29,500円

7 目的及び内容

日時	テーマ	講師氏名	目的
9:00～9:20	受付		
9:20～9:30	開会挨拶 オリエンテーション	・公益社団法人広島市老人福祉施設連盟 研修部会	
9:30～12:30	I 基本的理解 認知症ケアの基本的視点と理念	・認知症コーディネーター 西川 竜馬	高齢者の背作における認知症ケアの方向性と位置づけを理解し、個人の尊厳を重視する認知症ケアの理念の構築を促す。
(45分)	休憩		
13:15～14:15	I 基本的理解 認知症ケアの倫理	・認知症コーディネーター 中宮 りえ	認知症ケアの倫理の理念や原則を理解し、日常的なケアの場面での倫理的課題と本院や家族の意思決定や意思表出の判断の根拠を踏まえ、支援のあり方について理解を深める。
14:25～17:25	I 基本的理解 認知症の人の理解と対応	・認知症コーディネーター 岩本 陽子	加齢に伴う心身の変化、疾病、認知症原因疾患、中核症状、心理的特徴を理解した上で、行動・心理症状(BPSD)の発生要因と実践場面での対応を理解し、認知症ケアの実践につなげる。
17:25～18:00	振り返り・アンケート		

	日時	テーマ	講師氏名	目的
2 日 目	9:15~10:45	I 基本的理解 認知症の人の家族への支援方法	・認知症コーディネーター 吉田 祐樹	在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。
	10:45~12:45	I 基本的理解 認知症の人の権利擁護	・認知症コーディネーター 大城 真也	権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。
	(45分)	休憩		
	13:30~15:30	I 基本的理解 認知症の人の生活環境づくり	・認知症コーディネーター 梶原 宣志	住まいの様式、介護者のかかわりなど認知症の人を取り巻く生活環境の構築や改善のための評価方法や調整方法を修得する。
	15:35~17:35	I 基本的理解 地域資源の理解とケアへの活用	・認知症コーディネーター 廣木 佑介	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人の暮らしを支える地域資源の開発の提案ができる。
	17:35~18:00	振り返り・アンケート		
3 日 目	9:20~11:20	II 具体的支援方法と展開 認知症の人とのコミュニケーションの理解と方法	・認知症コーディネーター 波瀬 きよみ	認知症の人とのコミュニケーションの基本的知識を理解し、中核症状の特徴や進行に応じたコミュニケーション方法を身につける。
	11:20~12:20	II 具体的支援方法と展開 認知症の人への非薬物的介入 (前半)	・認知症コーディネーター 梶原 宣志	非薬物的介入やアクティビティプログラムなどの支援の取り組みを認識しつつ、
	(50分)	休憩		
	13:10~14:10	認知症の人への非薬物的介入 (後半)	(午前II コマ目同上)	認知症の人の心理的安定や生活の質を向上するためのかつどうについて理解を深めること。
	14:20~17:20	II 具体的支援方法と展開 認知症の人への介護技術 I (食事・入浴・排泄等)	・認知症コーディネーター 室谷 美佐	食事・入浴など基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、日常生活の安全・安心の向上、健康の維持増進を図りつつ、認知症の人の能力に応じた自立支援の実践ができる。
17:20~17:50	振り返り・アンケート			
4 日 目	9:20~12:20	II 具体的支援方法と展開 認知症の人への介護技術 II (行動・心理症状)	・認知症コーディネーター 福光 直美	認知症の人の行動背景を理解した上で、認知症の行動・心理症状 (B P S D) に対してチームで死生の質が高められるような支援方法を修得する。
	(50分)	休憩		
	13:10~17:10	II 具体的支援方法と展開 アセスメントとケアの実践の基本 I	・認知症コーディネーター 岩本 陽子	認知症の人の身体的要因、心理的要因、認知症の中核症状の要因のアセスメントを行い、具体的ニーズを把握することができるようアセスメントの基本的視点を理解する。
17:10~17:50	振り返り・アンケート			
5 日 目	9:20~12:20	II 具体的支援方法と展開 アセスメントとケアの実践の基本 II (事例演習)	・認知症コーディネーター 中宮 りえ	アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践に関する計画の作成・立案ができる。チームケアの実践に関する計画の評価やカンファレンスを行うことができる。
	(50分)	休憩		
	13:10~17:10	III 実習 自施設における実習の課題設定	・認知症コーディネーター 浦元 こずえ	認知症の人が望む生活の実現に向けて適切なアセスメントを通じた課題と目標を明確にし、ケアの実践に関する計画を作成する。
17:10~17:50	振り返り・アンケート			
4 週 間		III 実習 自施設実習 (アセスメントとケアの実践)		研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケアの実践に関する計画やケアの実践を展開することができる。

日時	テーマ	講師氏名	目的
9:20~12:20	Ⅲ 実習 自施設実習評価（まとめ）	・認知症コーディネーター 向井 巧実	アセスメントやケアの実践に関する計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し今後の課題を明確にすることができる。
(60分)	休憩		
13:20~14:20	認知症当事者談話 & 介護体験談	・当事者並びに在宅介護経験者 入野 輝雄氏 (認知症地域支援推進員 岡田眞理氏) 高木 直美 氏 (元悠悠タウン江波デイサービスセンター介護職員)	認知症当事者の思い、元介護職員で在宅介護経験者が語ってくださる現状を聞き、認知症を抱える家族を理解し、支援する方法について考える。
14:20~17:20	ワールドカフェ	・認知症コーディネーター 大城 真也	話し合いのテーマに基づいて、話し合いたいテーマについて、自由に意見を出し合い、お互いの思いや考えの背景について探求し、相互理解を深めることを目的としています。急いで問題を解決したり結論を出したり、終わった後に合意形成ができていたりすることが目的ではありません。
17:20~17:50	まとめ 閉会式等	・公益社団法人広島市老人福祉施設連盟 研修部会	

6
日
目

8 研修コーディネーター(認知症介護指導者養成研修修了者)

社会福祉法人慈楽福祉会 特別養護老人ホーム瀬野川ホーム	介護主任	向井 巧実
社会福祉法人あと会 特別養護老人ホームくにくさ苑	相談員	室谷 美佐
社会福祉法人寿老園老人ホーム 特別養護老人ホームあけぼの寿老園	介護職	岩本 陽子
社会福祉法人可部大文字会 特別養護老人ホーム山まゆ2号館(ユニット型)	施設長	梶原 宣志
国家公務員共済組合連合会広島記念病院 介護老人保健施設記念寿	介護職	浦元 こずえ
社会福祉法人福祉広医会 特別養護老人ホーム悠悠タウン江波	副主任	福光 直美
医療法人和同会 西広島グループホームなごみの家	ホーム長	中宮 りえ
社会福祉法人光清学園 特別養護老人ホーム光清苑	介護支援専門員	西川 竜馬
社会福祉法人慈光会 特別養護老人ホーム慈光園	主任生活相談員	大城 真也
社会福祉法人正仁会 特別養護老人ホームなごみの郷	生活相談員	廣木 佑介
社会福祉法人慈光会 養護老人ホーム上安慈光園	総務部長	吉田 祐樹
社会福祉法人広島博愛会 特別養護老人ホーム五日市あかり園	フロアリーダー	波瀬 きよみ

研修アドバイザー(認知症介護指導者養成研修修了者)

社会福祉法人広島県同胞援護財団 特別養護老人ホーム緑ヶ丘静養園	主任介護士	大下 俊子
社会福祉法人広島県同胞援護財団 特別養護老人ホーム千歳園	生活相談員	志賀 彰

9 研修参加にあたって

- 配布資料は、(1)開催要綱、(2)受講者名簿・班別名簿、(3)テキスト、(4)パンフレット、(5)名札
※ その他、追加資料がある場合、随時配布をいたします。
- 出席の確認については、研修期間中受付時に出席簿に捺印をもって確認いたします。
なお全日程修了者（最終日のワールドカフェ含む）に対して、修了証書を交付いたしますので、出席簿に捺印漏れがあった場合等交付できない場合もありますので、**必ず印鑑を持参**のうえ捺印ください。
- 研修参加費については、研修日初日に受付にて現金でお支払いください。
一旦納入された受講料の返金はできません。
- 別添、注意事項を一読の上研修の受講をしてください。
- 全日程修了者に対し修了証書を交付しますので、**必ず印鑑を持参**し出席簿に捺印してください。
受講中の態度等について、研修の妨げとなったり他の研修生に迷惑を及ぼす行為や態度が見られる場合には、退室や受講中止の措置を講じる場合がありますので、ご了承ください。
- 駐車場は事前に確保することはできません。**公共交通機関**をご利用ください。

11 お問い合わせ／連絡先

公益社団法人広島市老人福祉施設連盟 事務局

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号 広島市総合福祉センター内

TEL : (082) 207-0567 ・ FAX : (082) 207-0576 ・ E-mail : rousiren@chive.ocn.ne.jp

12 研修会場案内

- ◆ JR西日本 ⇒ JR広島駅南地下改札より、広島駅南口地下広場9番(猿猴川)出入口方面へ徒歩3分
- ◆ 広島電鉄 ⇒ 広島駅ホームより広島駅南口地下広場9番(猿猴川)出入口方面へ徒歩3分
- ◆ 各バス会社 ⇒ 城北・大洲通り・広島駅構内バス停から広島駅南口地下広場へ降りて、9番入口方面へ徒歩3分
⇒ 城南通り・駅前大橋側福屋駅南側バス降車場より広島駅地下広場8番出入口より地下広場へ降り、9番(猿猴川)出入口方向へ徒歩3分



【駐車場について】

研修会場へは公共交通機関をご利用ください。

専用駐車場はありません。